

# えひめの歴史文化モノ語り

## 県歴博収蔵資料から ㊦

2026年の新しい年を 令和翌日の8日から平成に迎えた。今年は昭和元年(1926年)から起算して満100年を迎える。内閣府では「昭和100年」のポータルサイトで関連施策の情報発信をしている。そこで、今回は「昭和100年」に関連して大正から昭和に改元された際のはがきを紹介する。

1926(大正15)年12月 医学部(現岡山大学医学部)

2026年の新しい年を 令和翌日の8日から平成に迎えた。今年は昭和元年(1926年)から起算して満100年を迎える。内閣府では「昭和100年」のポータルサイトで関連施策の情報発信をしている。そこで、今回は「昭和100年」に関連して大正から昭和に改元された際のはがきを紹介する。

1926(大正15)年12月 医学部(現岡山大学医学部)

えている。「大正十五年十二月」とあることから、崩御の直前に発送したものと推される。

その一方で消印を見る

## 昭和改元時の郵便はがき

# 発表前に消印切り替え

松山市に縁の深い中村草田男は昭和6年に「降る雪

月25日午前1時25分に大正天皇が崩御されると、踐祚(せんそ)した昭和天皇は午前10時20分に「十二月二十五日以後ヲ改メテ昭和元年ト為ス」の詔書に署名され、同日から昭和に改元された。昭和元年は同月31日までの7日間である。なお、昭和64(1989)年1月7日に昭和天皇が崩御された際は、元号法に基づき政

を卒業後軍医となり、1900年に耳鼻咽喉科を開業した。市会議員や郡会議員を歴任して、1938年に宇和島市長となっている。はがきの裏面には「至尊陛下御不例ニ涉ラセラレ恐懼ニ堪ヘズ 年末年始ノ御礼差扣へ申候 大正十五年十二月」とある。大正天皇が病気であるため、年末年始のあいさつを控えると伝

や 明治は遠くなりにけり」と詠んでいる。「昭和100年」と聞くと「昭和も遠くなりにけり」と感じる方も多いのではないだろうか。2026年を迎えた今年、新たな目標に取り組むとともに、折に触れて昭和を振り返る機会にはどうだろうか。

(専門学芸員・平井誠) <随時掲載します>



至尊陛下 御不例ニ涉ラセラレ 恐懼ニ堪ヘズ  
年末年始ノ御禮差扣へ申候  
大正十五年十二月

宇和島市廣小路  
樋口 虎 若

郵便はがきの④消印と⑤裏面。昭和元年  
― 県歴史文化博物館蔵